

平成30年9月13日10時30分
地震火山部

「平成30年北海道胆振東部地震」について(第8報)

地震の概要

検知時刻：9月6日03時08分

(最初に地震を検知した時刻)

発生時刻：9月6日03時07分

(地震が発生した時刻)

マグニチュード：6.7(暫定値)

場所および深さ：胆振(いぶり)地方中東部、深さ37km(暫定値)

発震機構：東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型(速報)

震度：【最大震度7】北海道厚真町(あつまちょう)で震度7、北海道安平町(あびらちょう)、北海道むかわ町で震度6強、北海道千歳市(ちとせし)、北海道日高町(ひだかちょう)、北海道平取町(びらとりちょう)、北海道札幌市東区(さっぽろしひがしく)で震度6弱を観測したほか、北海道から中部地方の一部にかけて震度5強～1を観測しました。

○防災上の留意事項

平成30年北海道胆振東部地震の発生から1週間が経過し、9月6日にM6.7の地震(最大震度7)の発生した地域において同程度の地震が発生する可能性は、地震発生当初に比べ低くなりました。地震の発生数は緩やかに減少していますが、地震活動は依然として活発な状態です。今後1週間程度、最大震度5弱程度以上の地震に注意してください。

今回発生した地震の周辺地域には、石狩低地東縁断層帯があることに留意してください。また、強い揺れを伴う地震がいつ発生してもおかしくありませんので、家具の固定など日頃からの地震への備えを心がけてください。

揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているおそれがありますので、復旧活動などを行う場合には今後の地震活動や降雨の状況に十分注意し、やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど、身の安全を図るよう心がけてください。

○地震活動の状況

今回の地震(M6.7)の発生以降、13日09時現在の地震の回数は次の通りです。

最大震度7が1回、最大震度5弱が1回、最大震度4が13回、最大震度3が26回、最大震度2が68回、最大震度1が130回です。

地震活動は、今回の地震(M6.7)の震源を含む南北約30kmの領域で活発な状態が続いています。

※震度1以上を観測した地震回数の精査

今回の地震(M6.7)の発生直後に入電していなかった地点の震度データを入手するなどにより、震度1以上を観測した地震回数について精査しました。その結果、9月6日06時11分の地震(M5.4)の最大震度が4から5弱に変更になり、最大震度4の地震が13回(精査前8回)となるなど震度1以上を観測した地震の回数は239回(精査前188回)となりました(13日09時現在)。

なお、これらの地震回数は、今後の更なる調査により変更することがあります。

本件に関する問い合わせ先：地震火山部 地震津波監視課

電話 03-3284-1743 FAX 03-3215-2963

今回精査した「平成30年北海道胆振東部地震」の最大震度別地震回数表

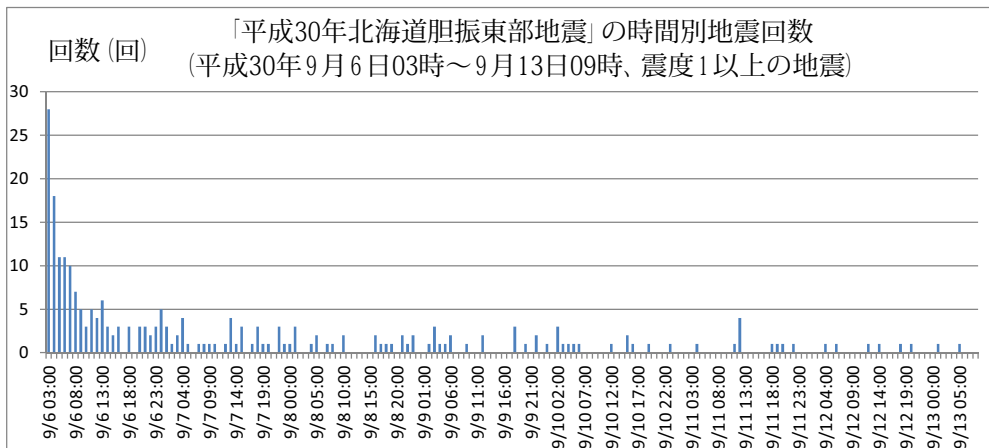
平成30年9月6日03時～9月13日09時、震度1以上

(注) 掲載している値(速報値)は精査により暫定値となります。その後の調査でも変更する場合があります。

時間帯	最大震度別回数							震度1以上を観測した回数		備考		
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7		回数	累計
9/6 03時-24時	72	34	16	6	1	0	0	0	1	130	130	※1 ※2
9/7 00時-24時	22	9	6	2	0	0	0	0	0	39	169	※3
9/8 00時-24時	10	9	1	1	0	0	0	0	0	21	190	
9/9 00時-24時	13	3	0	1	0	0	0	0	0	17	207	
9/10 00時-24時	7	6	1	0	0	0	0	0	0	14	221	
9/11 00時-24時	3	4	1	2	0	0	0	0	0	10	231	※4
9/12 00時-24時	3	2	0	1	0	0	0	0	0	6	237	
9/13 00時-09時	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	239	

時間帯	最大震度別回数							震度1以上を観測した回数		備考		
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7		回数	累計
9/12 00時-01時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	231	
01時-02時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	231	
02時-03時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	231	
03時-04時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	231	
04時-05時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	232	
05時-06時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	232	
06時-07時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	233	
07時-08時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	233	
08時-09時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	233	
09時-10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	233	
10時-11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	233	
11時-12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	233	
12時-13時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	234	
13時-14時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	234	
14時-15時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	235	
15時-16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	235	
16時-17時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	235	
17時-18時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	235	
18時-19時	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	236	
19時-20時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	236	
20時-21時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	237	
21時-22時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	237	
22時-23時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	237	
23時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	237	
9/13 00時-01時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	237	
01時-02時	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	238	
02時-03時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	
03時-04時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	
04時-05時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	
05時-06時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	239	
06時-07時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	239	
07時-08時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	239	
08時-09時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	239	
総計	130	68	26	13	1	0	0	0	1		239	

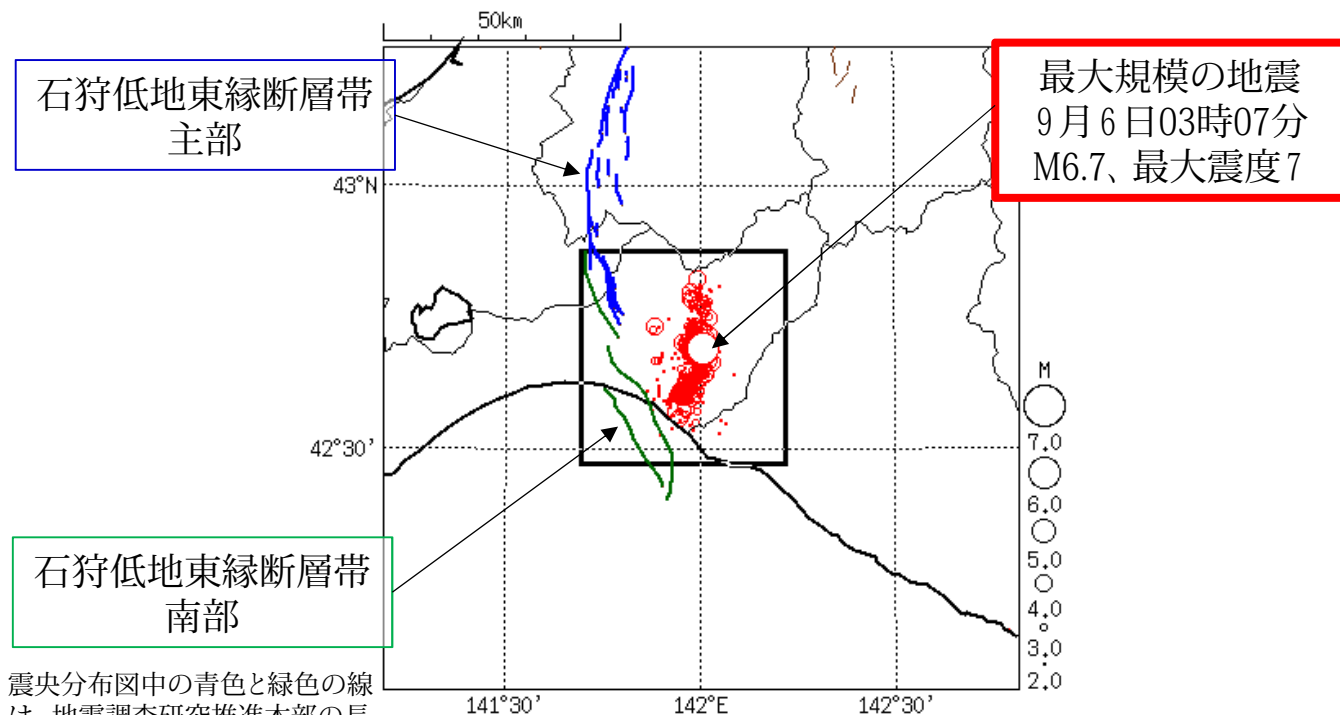
- ※1 [9/6更新]03時07分の地震の最大震度を6強から7へ変更しました。
- ※2 [9/13更新]9/6の回数を変更しました(震度1:43→72、震度2:26→34、震度3:12→16、震度4:2→6、震度5弱:0→1、9/6合計:84→130)。
- ※3 [9/13更新]9/7の回数を変更しました(震度1:21→22、震度2:8→9、震度3:5→6、震度4:1→2、9/7合計:35→39)。
- ※4 [9/13更新]9/11の回数を変更しました(震度1:2→3、9/11合計:9→10)。



「平成30年北海道胆振東部地震」 地震活動の状況（9月13日09時00分現在）

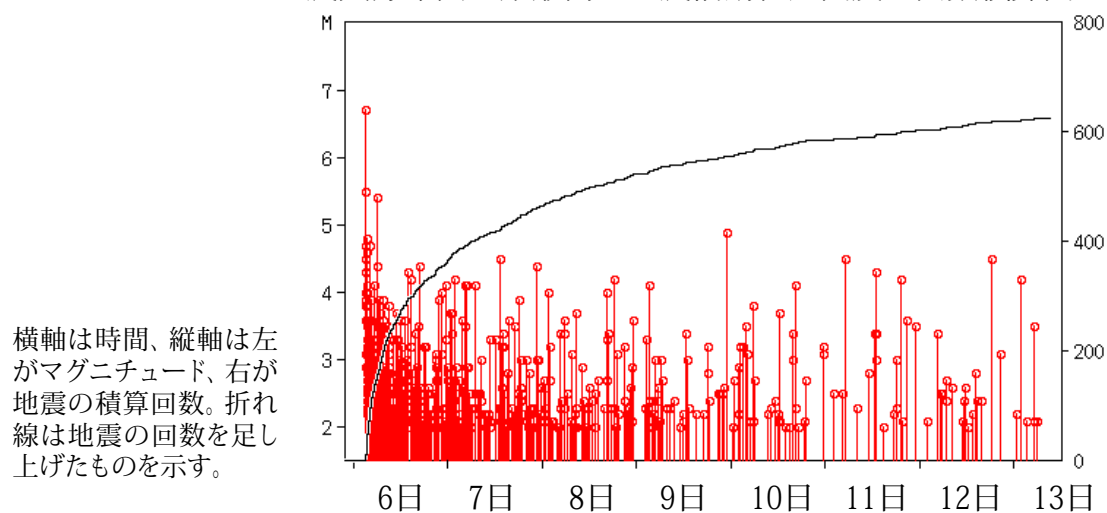
震央分布図

(2018年9月6日00時00分～13日09時00分、M \geq 2.0、深さ0～60km)



震央分布図中の青色と緑色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

震央分布図の矩形内の地震活動経過図及び回数積算図



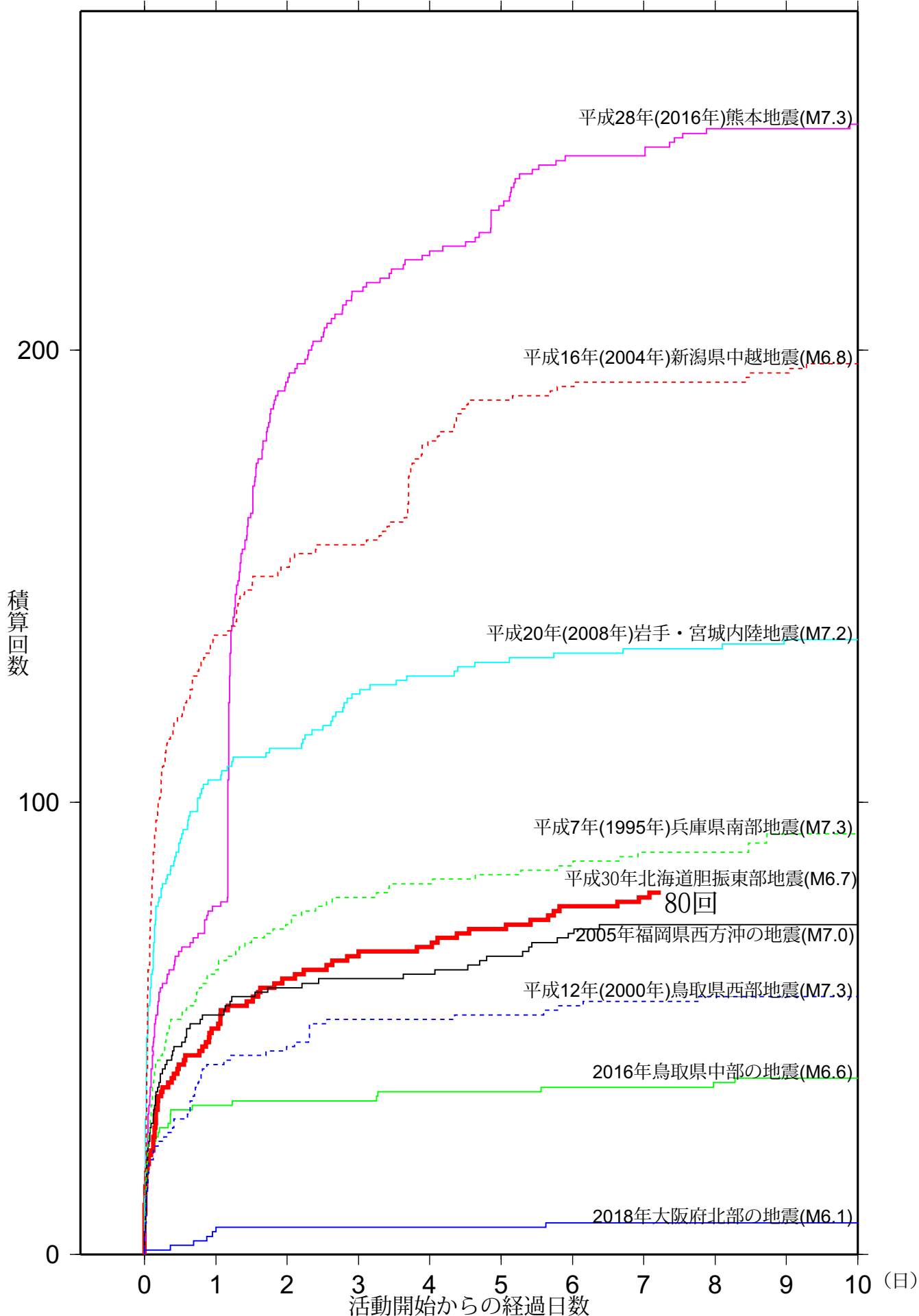
横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものを示す。

<本資料の利用上の留意点>

- ・9月12日以降の震源は精査前の震源です。
- ・9月13日の震源には、自動処理による結果を含みます。
- ・自動処理による震源には、発破等の地震以外のものや、震源決定時の計算誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

内陸及び沿岸で発生した主な地震の 地震回数比較（マグニチュード3.5以上）

2018年09月13日09時00分現在



※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがあります。
 ※地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。

「平成30年北海道胆振東部地震」 地震発生確率の状況（9月13日09時00分現在）

- ・ 本日の時点で、最大震度5弱程度以上の地震の発生する可能性は依然として高い状態です。
- ・ 地震発生確率は9月6日の地震発生当初に比べて1／5程度、平常時の100倍超となっています。

地震発生確率の状況

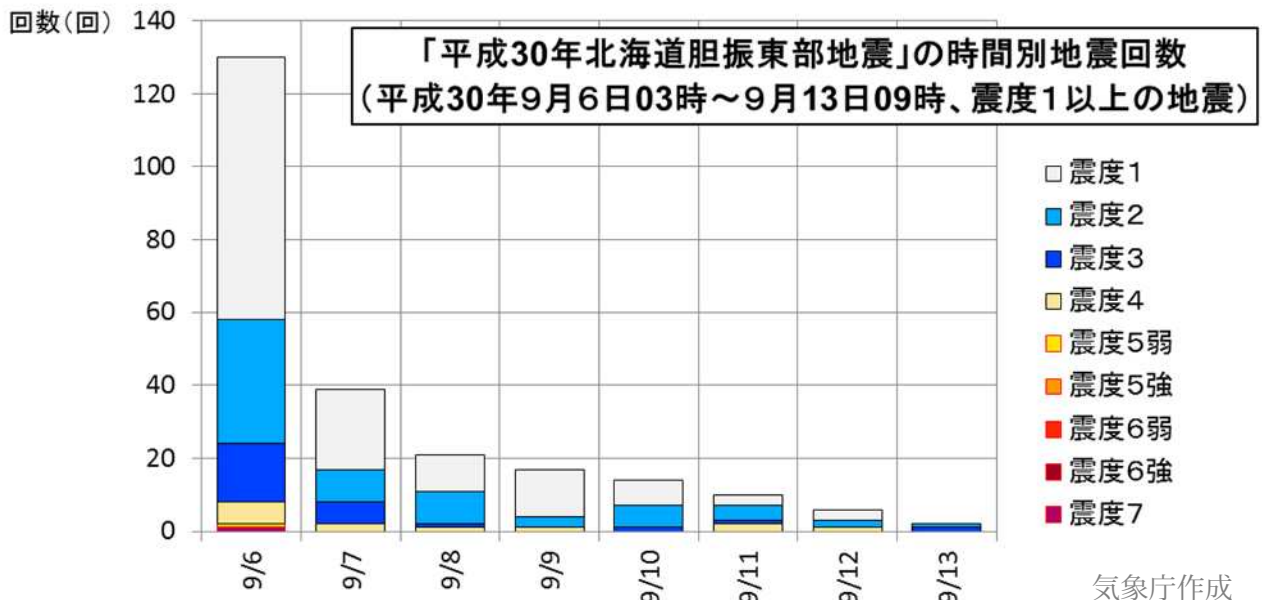
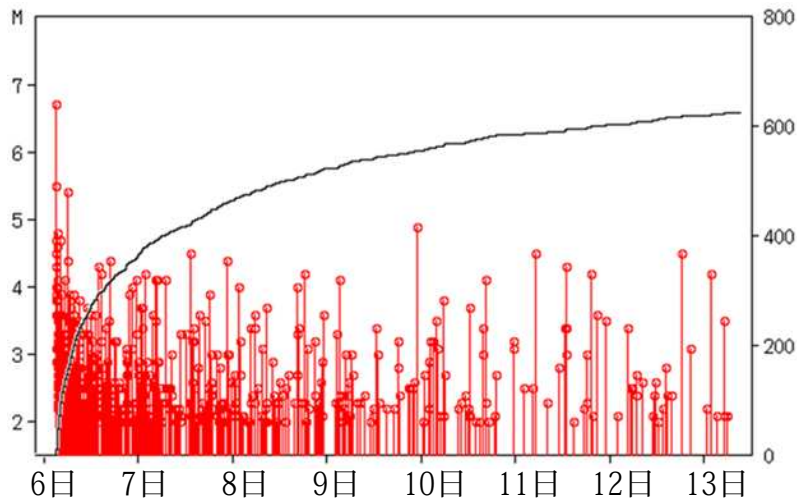
地震発生確率 の基点日時	地震発生当初との比較	平常時との比較
	最大震度5弱程度以上	最大震度5弱程度以上
9月13日 09時	1/5 程度	100倍超

地震調査研究推進本部の報告書「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」に基づき、以下の通りとした。

- ※本資料における地震発生確率とは基点日時から3日間の地震発生確率としている。
- ※地震発生当初の確率は、地震発生直後から3日間の確率を計算したものである。
- ※「地震の発生する可能性は高い状態」の判断は、1ヶ月に1回程度の発生に相当する確率値を基準にしている。
- ※平常時との比較で100倍を超えている場合は、「100倍超」としている。

地震活動経過図及び回数積算図

横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものを示す。

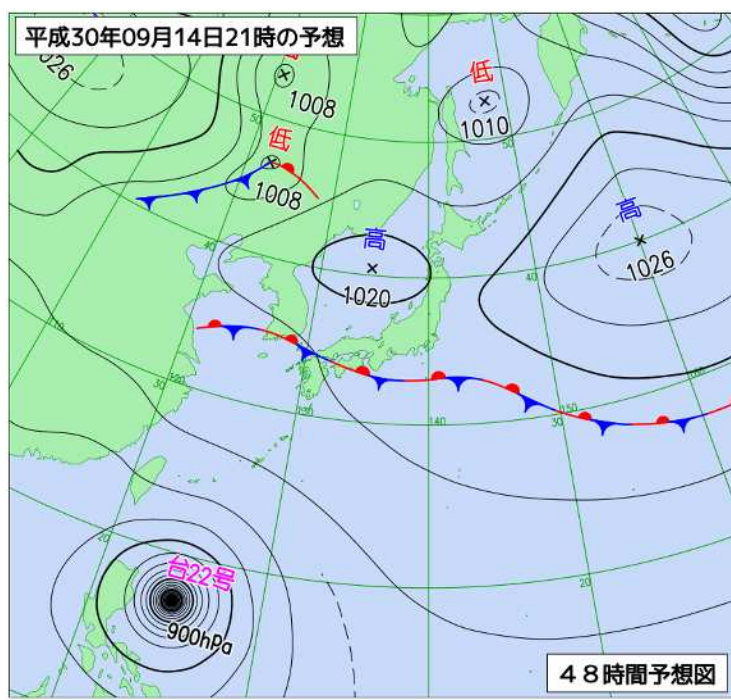
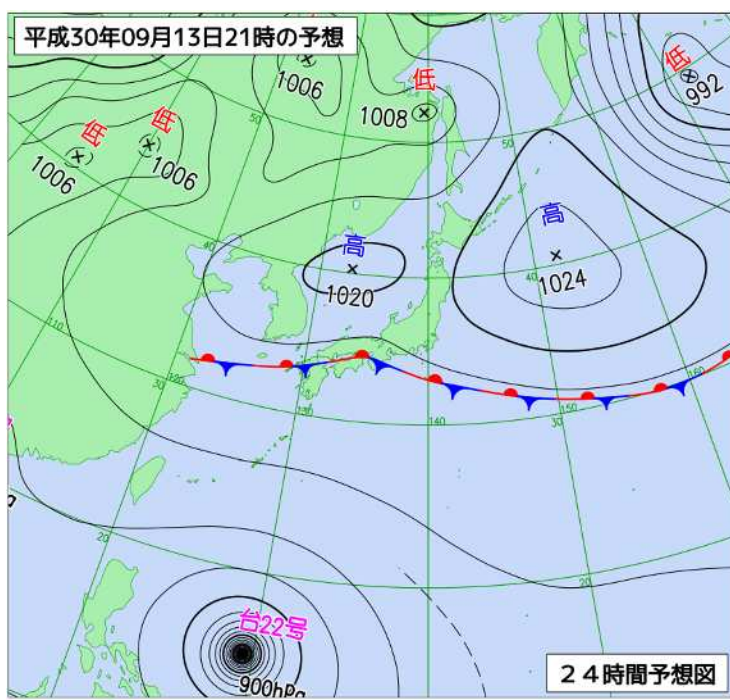
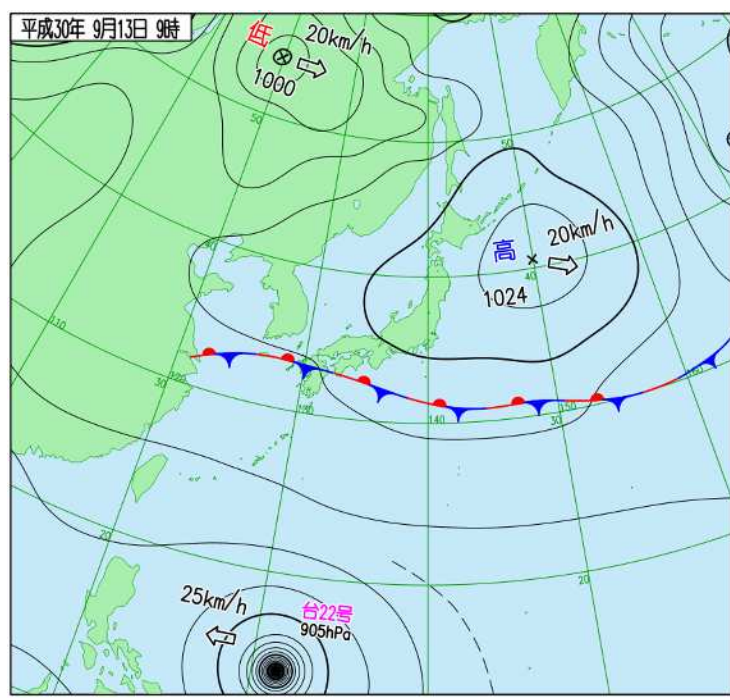


平成30年9月13日 16時00分

【概況】今夜から明日昼前にかけて、気圧の谷の通過で、大気の状態が不安定となり所により雷を伴った雨が降る見込み。気圧の谷通過後（昼過ぎ）は、天気は回復し晴れる見込み。13日夜の石狩・空知・後志地方と胆振・日高地方は曇り所により雨で雷を伴うでしょう。14日の石狩・空知・後志地方と胆振・日高地方は曇りで昼前まで所により雨で雷を伴う見込みです。

【留意点】

- 1時間雨量の最大値(13日18時から14日18時)
石狩・空知・後志地方：10ミリ 胆振・日高地方：3ミリ
- 24時間雨量(13日18時から14日18時)
石狩・空知・後志地方：10ミリ、胆振・日高地方：10ミリ
- 石狩・空知・後志地方は13日夜遅くから、胆振・日高地方では13日夕方から14日昼前にかけて雷を伴い断続的な雨となる見込み。



厚真町付近の天気

平成30年9月13日 11時00分

日 / 気温	13日 / 日中の最高22℃				14日 / 朝の最低14℃			
時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時
天気								
3時間雨量(ミリ)	0	0	0	0	1~4	1~4	0	1未満
気温(℃)	20	20	18	16	16	15	15	20
風向								
風速(m/s)	6	4	2	2	2	2	2	2
波の高さ(m)	1.5	1	1	1	1	1	1	1

風向 ・ 0m/s 1-4m/s 5-9m/s 10m/s以上 注意報基準(3m)以上の波は太字で表示します。
 気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

週間天気予報 (胆振・日高地方 気温：室蘭)

日	14日(金)	15日(土)	16日(日)	17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)
天気	曇後晴 	晴時々曇 	曇後一時雨 	曇後晴 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇時々晴
降水確率(%)	20/10/0/0	10	50	30	10	10	10
最高気温(℃)	24	22	22	23	24	22	21
最低気温(℃)	18	16	17	17	16	14	14

降水確率の1日目は、0-6/6-12/12-18/18-24時です。

週間天気予報 気温：厚真町

日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
最高気温(℃)	25	23	23	24	23	23	22
最低気温(℃)		15	12	11	10	11	13

1. 電源復旧による送電状況

■ 停電戸数 161戸 (2018年9月13日、15時現在)

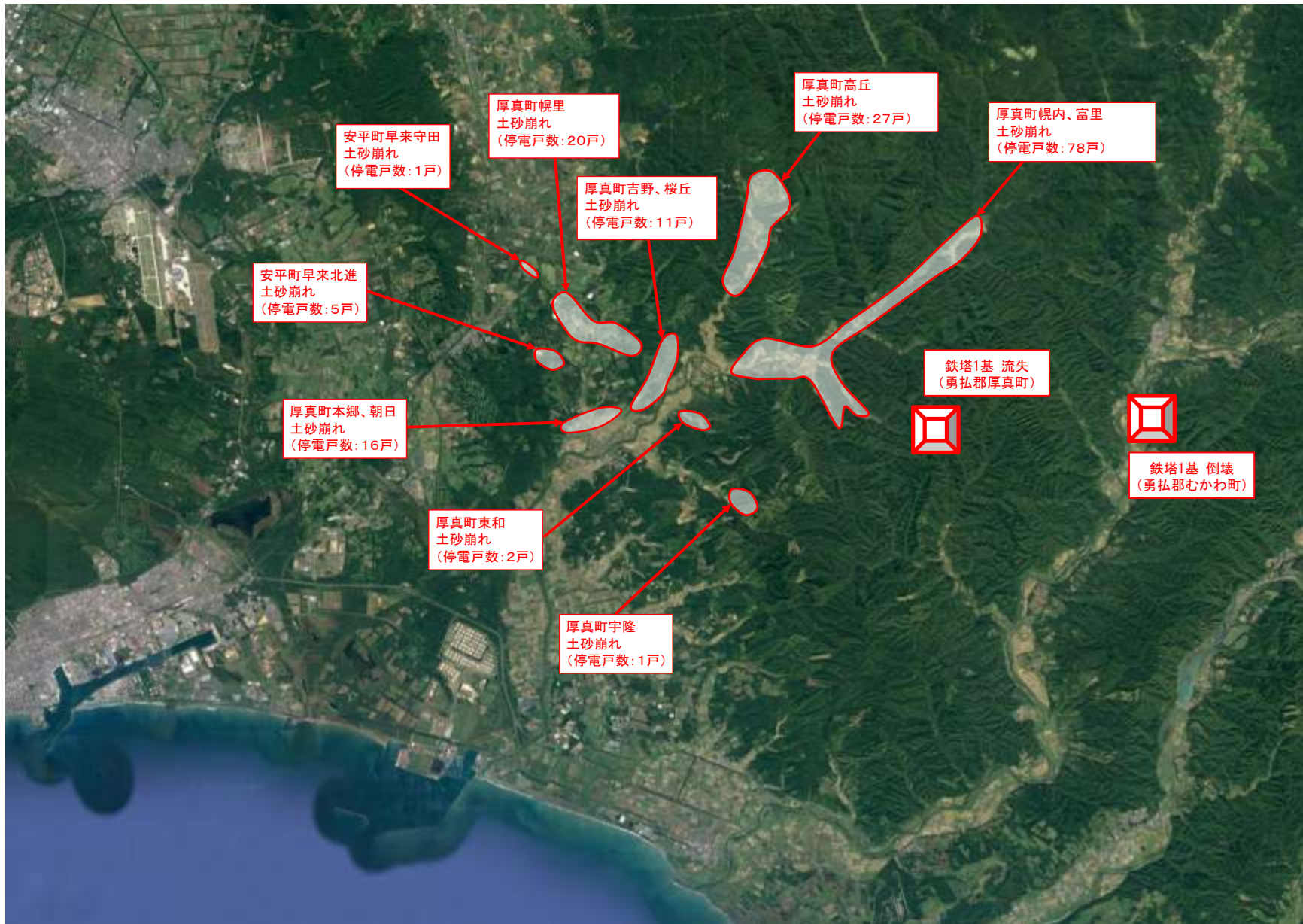
※停電戸数の内訳は下表のとおりです。

(表) 停電戸数内訳

市町村	停電戸数	地域	状況
厚真町	<u>155戸</u>	朝日、宇隆、桜丘、高丘、東和、富里、幌里、幌内、本郷、吉野	• 土砂崩れのため道路が寸断され、復旧車両の立入が困難、自治体と対応し、仮設設備（高圧ケーブル・迂回ルート等）により一部復旧。
安平町	<u>6戸</u>	早来北進、早来守田	• 土砂崩れのため道路が寸断され、復旧車両の立入が困難、仮設設備により一部復旧予定。
合計	<u>161戸</u>		

停電戸数については被災による損壊等により現時点で送電できない戸数（計51戸）を除き集計しております。

2. 厚真町・安平町の停電エリア



3. 節電の状況

■9月12日（水）

時間帯 (時台)	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時
節電率 (%)	20.2	16.3	15.6	17.4	17.9	20.0	18.9	16.4	16.0	14.2	14.1	14.3	13.9

■9月13日（木）

時間帯 (時台)	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時
節電率 (%)	19.6	17.2	17.5	16.0	15.1	16.4	15.8						

- 供給力に限りがありますことから、引き続き節電タイム（平日朝8時30分～夜8時30分）において、平常時よりも2割の節電をお願いいたします。

● 「平成30年北海道胆振東部地震」に伴う災害の現状報告と今後の取り組みについて

1 災害概況（9月6日～9月13日）

(1) 地震の概要

- ・地震発生日時：9月6日（木）3：07
- ・最大震度：6弱（東区）
- ※札幌で震度5以上を記録したのは初、地震による災害対策本部の立ち上げも初
- ・マグニチュード6.7（暫定値）
- ・震源地：胆振東部

(2) 市内の被害状況（9月13日15：00現在）

- ・人的被害：死者1人、負傷者236人（重傷1人、軽傷235人）
- ・物的被害：全壊13棟、半壊38棟（うち大規模半壊1棟）、一部損壊265棟
 - ・り災証明受付1,350件
 - ・清田区の被災建築物調査：538件（うち要注意88件、危険85件）
 - ・豊平区の被災宅地調査：9件（うち要注意：5件）
- 道路被害等242件、公園被害等6件（閉鎖中）

※清田区里塚の一部で局地的に大きな被害発生

(3) 市内の避難所状況

- ・避難所開設数3カ所、避難者数92人（9月13日15時現在）
- ※最大時：開設数300カ所（9月6日17：00）、避難者数10,037人（9月7日6：00）
- ・外国人観光客向け避難所開設数6カ所（現在全て閉鎖）
- 場所：わくわくホリデーホール、大通高校、市民交流プラザ、北海道庁別館、中島体育センター、チ・カ・ホ
- ※最大時：避難者数1,250人（9月7日6：00）

(4) 市内のライフライン状況

- ・水道：清田区と厚別区で断水発生、9月9日に復旧（一部地域を除く）
- ※最大断水戸数：15,941戸、断水人口：37,250人（9月6日10：35）
- ・電気：地震発生後市内全域で停電、9月8日に復旧
- ・ガス・下水道：被害なし
- ・通信：通信各社とも一部繋がりにくい箇所あるが通信可能
- ・市道：東15丁目屯田通（東区北22条東15丁目～東区北47条東15丁目の一部）、清田区里塚1条1丁目・2丁目の一部を通行止め
- ・市営交通（地下鉄・市電）：9月7日より運転再開
- ・JR：9月7日より順次運行再開（9月12日現在一部運休）
- ・路面バス：9月7日より順次運行再開（9月12日現在一部運休）
- ・病院：9月9日から市内の主要医療機関は通常の診療体制
- ・学校等：9月10日から市内の小中学校授業再開（一部学校を除く）

(5) その他

- ・燃料：医療機関やライフライン施設等の非常用発電機の燃料確保
- ・ごみ収集：9月6日から収集を実施（9月7日のみ休止）
- ・休止中のスポーツ施設：11件（9月12日現在）

2 被災者支援の取り組み（別紙参照）

(1) 「被災者支援室」の設置

① 名称

被災者支援室

② 設置日

9月12日（水）

③ 目的

被災者の今後の生活に対する不安を解消し、一日も早く日常生活を取り戻せるよう、各種生活支援制度等に関する情報提供と適切な運用、各種相談への対応について、総合的・一体的かつ迅速に行うべく、災害対策本部内に設置。

④ 主な業務内容

ア 生活支援制度等の情報提供

札幌市による生活支援制度等の情報を集約・整理した「生活支援ガイド」を新たに作成し、市公式ホームページ（URL：<http://www.city.sapporo.jp/kinkyu/saigaishien/201809/index.html>）への掲載や各区役所・避難所等での配布を9月11日より開始。ホームページは随時、同ガイドは週に1回程度、情報を更新し、その都度必要な情報を提供していく。

イ 支援制度に係る総合的な調整

現行の支援制度の適切な運用に向けて総合的な庁内調整を図る。

ウ 総合相談窓口の設置

対面による相談窓口を市民の声を聞く課に設置し、総合相談窓口として運用を開始（9月10日から）。なお、札幌市コールセンター（電話：011-222-4894）においても、引き続きさまざまな問い合わせを受け付ける。

⑤ 体制（16人）※兼任

- ・被災者支援室長：浦田 洋・まちづくり政策局長
- ・部長職：3人（政策企画部長、プロジェクト担当部長、広報部長）
- ・課長職：3人（政策推進課長、政策調整課長、市民の声を聞く課長）
- ・係長職・一般職：9人

(2) 「清田区里塚地区における地震被害対策会議」の取り組み

地盤が大きく沈下し、道路・水道・住宅などに被害が集中して発生している清田区里塚地区（清田区里塚1条1丁目・2丁目）において、被災者が一日も早く日常生活を取り戻せるよう、9月8日に立ち上げた「清田区里塚地区における地震被害対策会議」の取り組みの一環として、原因の究明などを行う専任チームを設置するほか、清田区避難所内に相談窓口を開設する。

① 専任チーム「清田区里塚地区市街地復旧推進室」の設置

ア 設置日

9月12日（水）

イ 主な業務内容

- ・被害が発生した原因の究明
- ・今後の市街地復旧に向けた検討

ウ 体制（4人）

特定街路担当課長（土木職）、係長職1人（建築職）、一般職2人（土木職）

② 清田区避難所内における相談窓口の開設

ア 開設日

9月12日(水) ※おおむね1週間程度(予定)

イ 開設場所

清田区体育館(清田区平岡1-5)

ウ 受付時間

13:00~20:00

エ 相談内容

- ・清田区里塚地区(清田区里塚1条1丁目・2丁目)の住民を対象とした住居・その他の一般相談
- ・同体育館への避難者に対する「こころとからだの健康相談」
- ・札幌地域災害復興支援士業連絡会の各種専門家(弁護士・司法書士・不動産鑑定士・会計士・土地家屋調査士・税理士・行政書士)による相談

3 札幌市の節電の取り組み

(1) 市有施設における節電の取り組みについて

① 庁舎等

ア OA機器

- ・パソコン等OA機器の省エネ設定の徹底
- ・待機電力の削減(スイッチ付き節電タップの利用等)の徹底

イ 照明

- ・通常の1/2程度に間引き(窓側や廊下等の点灯方法見直し、危険個所を除く)
- ・使用していないエリアの消灯の徹底
- ・施設のライトアップ等の消灯

ウ 空調

- ・冷房設備の原則停止(窓の開放等による換気)
- ・換気設備の大幅抑制(台数制限含む)、間欠運転

エ 設備

- ・エレベーター稼働台数半減(混雑する時間帯を除く)
- ・エスカレーターの一部停止(混雑する時間帯を除く)
- ・近接階への階段利用の励行

オ 職員等への呼び掛けの徹底

- ・庁内放送等による節電呼び掛け

② その他施設(市営交通、上下水道、清掃工場、公園、スポーツ施設など)

- ・地下鉄、市電の間引き運転(ラッシュ時を除く)
- ・上下水道施設等のインフラ施設については、一部設備の運転を昼間から夜間の時間帯に変更するほか、一時的に設備の停止を行うなど運転管理の見直し
- ・地震で停止していた清掃工場による発電の再開
- ・公園の水景施設(噴水等)の休止
- ・屋外スポーツ施設等におけるナイター営業の休止 など

(2) 市民・企業に対する節電の呼び掛け

① 節電が必要な時間帯

8:30～20:30

消費電力の総量ではなく、ピーク電力を下げる事が重要であるため、上記時間以外での電力使用が効果的な節電につながります。

② 家庭における節電メニュー例

項目	対策例
電力のカット	照明を3分の1程度消灯、便座暖房オフ
家電の省エネモード設定	冷蔵庫温度設定、テレビの照度ダウン
他のエネルギーの利用	湯沸かしや調理はガスを利用する
電気使用時間のシフト	1日分の炊飯を8時前に、入浴は21時以降に

③ オフィスにおける節電メニュー例

項目	対策例
照明	執務エリアの間引き（半分程度）、無人エリアの消灯の徹底
空調	冷房運転せずに、窓の開放による換気を利用
OA機器	離席時の電源オフ、省エネモード設定

4 経済観光の取り組み

(1) 食品流通状況

① 中央卸売市場

9月11日（火）水産物部、青果部ともに通常どおりセリなどを実施した。取引量は、

水産、青果ともに地震前までの状態に回復している。

② 小売業（日本チェーンストア協会北海道支部ほか）

供給量は地震前までの状態に、ほぼ回復しているが、消費者の需要が大きいため、店頭が品薄になっている。生鮮、牛乳、豆腐、納豆などの供給も日々改善しており、今週中には通常の供給、需要に戻ると想定している。

(2) 観光客

市内ホテル、観光施設ともに利用者が減少している模様。

(3) 中小企業支援

① 中小企業に対する経営・金融相談

札幌中小企業支援センターにおいて、9月10日より特別相談室を設置。

② 景気対策支援資金（融資制度）

ア 資金用途：運転資金・設備資金

イ 融資限度額：5000万円

ウ 融資期間：10年以内